

## カーボン事業部 欧州生産拠点での設備改善工事投資を決定

昭和電工株式会社（社長：森川 宏平）は、カーボン事業部の欧州生産拠点において、設備改善工事を実施することを決定しました。設備改善工事にかかる投資額は約 50 億円です。

当社の黒鉛電極事業は、日本、欧州、米国、アジアに合計 7 つの生産拠点を持ち、高品質 UHP 市場においてグローバルトップのシェアを有する事業です。本年スタートした中期経営計画 “The TOP 2021” において、「高める」事業ポートフォリオに位置付けられ、BIS40<sup>(注)</sup>（統合の相乗効果）と各生産拠点において安定供給と供給コストの最適化を本年の施策としております。BIS40 実現のために重要な「同一品質でのグローバル供給体制の確立」のための品質向上と安定生産を目的とし、今回、当社の連結子会社である SHOWA DENKO CARBON Holding GmbH（本社ドイツ）のドイツ、スペイン、オーストリアの 3 拠点において、設備改善工事を実施することを決定しました。なお、今回の改善投資工事および品質向上活動は 2019 年から 2020 年までの予定で実施され、供給において当社黒鉛電極事業全体の生産能力に対して 5% 程度の影響が予想されます。

当社 黒鉛電極事業は、引き続きお客様にとっての”Value in Use No.1”を達成し、競争力と収益性の高い事業を実現するための施策を実行してまいります。

以上

(注) BIS40

当社および当社の米国拠点である Showa Denko Carbon, Inc.と、2017 年に買収した旧 SGL GE Holding GmbH の統合によるシナジーを最大に追及する中期施策。グローバル供給・商流の最適化、原料調達交渉力の向上、生産性が高くコスト競争力に優れた旧 SGL と高品質を誇る昭和電工・大町事業所ならびに Showa Denko Carbon の両者の優れている点を相互に取り入れお客様にとっての Value in Use No.1 を達成させることで、2020 年時点で 40 億円の経済的効果を目指している。

◆ 本件に関するお問い合わせ先 広報室 03-5470-3235